

1. 実況上の着目点

- ① 日本海北部の 500hPa 5160m 以下の寒冷渦を回る 500hPa 5280m 付近のトラフに対応して、急速に発達しながら日本の東を東北東進する低気圧と大陸の高気圧との間で、日本付近は強い冬型の気圧配置となっている。また、三陸沖～渡島半島付近をシアーラインが南下。
- ② 850hPa で-6℃以下の寒気が西～東日本の太平洋側に南下、黄海・東シナ海・日本海・太平洋には寒気移流に伴う筋状の雲が広がり、北～西日本の日本海側では5mm前後の雨を、三陸沖では10mm前後の雨を解析、北～西日本日本海側の山沿いでは3時間で5～10cmの降雪を観測、三陸沖で雷を検知。
- ③ 強い冬型の気圧配置の影響で、全国的に強い風が吹き、波が高くなりしけている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、22日は急速に発達しながら日本のるか東に、23日は千島の東に進む。日本付近は、22日は全国的に強い冬型の気圧配置となり、1項①のシアーラインが北日本を通過。23日は北～東日本を中心に冬型の気圧配置が続き、日本海から北陸地方にシアーラインが停滞。24日は、大陸の高気圧が次第に張り出しを強め、北日本中心の冬型の気圧配置となる。
- ② 850hPa で-6℃以下の寒気は、23日朝にかけて西～東日本の太平洋側に南下、24日にかけて東日本付近に停滞する。1項①の寒冷渦は、22日は北海道地方に、23日はカムチャツカの東に進む。また、24日は、500hPa 5280m 付近のトラフが北～東日本を通過する。これに伴い、500hPa で-30℃以下の寒気が24日にかけて北陸地方に停滞する。西日本では23日にかけて、東～北日本では24日にかけて、山沿いを中心に大雪となる所がある。大雪に注意・警戒し、着雪、なだれに注意。
- ③ 上空寒気やシアーラインの影響で、北～西日本では24日にかけて、大気の状態が非常に不安定となる所がある。落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 冬型の気圧配置の影響で気圧の傾きが大きくなり、24日にかけて雪を伴った強い風や非常に強い風が吹いて、波が高くなり大しけとなる所がある。23日にかけて、北日本の日本海側では暴風雪や高波に、北陸地方では高波に警戒。全国的に24日にかけて、強風や風雪、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(18時からの24時間)：東北・北陸70、関東甲信60、北海道・東海50、近畿30、中国20cm。③ 波浪(明日まで)：東北6、北海道・伊豆諸島・北陸5、その他広い範囲で3～4m。

5. 全般気象情報発表の有無 「暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報」を17時頃に発表予定。